

「日本介護福祉士会の取組に対する認知度・評価に関する調査」の報告

運営サポーターアンケート運営部会
部会長 中野 朋和

方法

調査対象：528名（2024年3月4日時点の運営サポーター登録者数）

調査方法：Google フォーム

調査期間：2024年2月19日～3月4日

有効回答：208件（有効回答率39.4%）

主な結果

1. 基本属性

(1) 回答者の年齢と資格取得後の年数

回答者の年齢は、40歳代が最も多く90名（43.3%）、次いで50歳代が66名（31.7%）だった。介護福祉士資格を取得してから現在までの期間は、20年以上が最も多く75名（36.1%）、次いで15～20年未満が55名（26.4%）だった。

表1 回答者の年齢と資格取得後の年数 n=208

	件数	(%)	件名	(%)
年齢			資格取得年数	
20～29歳	3	(1.4)	1年未満	0 (0.0)
30～39歳	23	(11.1)	1～5年未満	13 (6.3)
40～49歳	90	(43.3)	5～10年未満	29 (13.9)
50～59歳	66	(31.7)	10～15年未満	36 (17.3)
60～69歳	23	(11.1)	15～20年未満	55 (26.4)
70歳以上	3	(1.4)	20年以上	75 (36.1)

(2) 回答者が介護福祉士会の会員になってからの年数

回答者が日本介護福祉士会、都道府県介護福祉士会の会員になってからの年数は、5～10年未満が最も多く44名（21.2%）、次いで10～15年未満が43名（20.7%）だったが、構成割合で見ると、1年未満を除いていずれも20%前後であった。

表2 回答者が会員になってからの年数 n=208

	件数	(%)
会員になってからの年数		
1年未満	3	(1.4)
1～5年未満	36	(17.3)
5～10年未満	44	(21.2)
10～15年未満	43	(20.7)
15～20年未満	40	(19.2)
20年以上	42	(20.2)

(3) 回答者の職種、勤務先

回答者の勤務先での職種は、「介護福祉職」が最も多く 87 名 (41.8%)、次いで「管理者等」47 名 (22.6%) だった。勤務先の運営主体は、「社会福祉法人」が最も多く 79 名 (38.0%) であり、次いで「株式会社等」が 47 名 (22.6%) だった。

表 3 回答者の職種、勤務先

		n=208	
職種	件数	(%)	運営主体 件名 (%)
	介護福祉職	87	
相談援助職	13	(6.3)	社会福祉法人 79 (38.0)
介護支援専門員等	24	(11.5)	(一般・公益) 財団・社団法人、宗教 25 (12.0)
管理者等	47	(22.6)	法人、独立行政法人、学校法人等の非 営利法人
事務職	9	(4.3)	医療法人等、病院・診療所を開設する 43 (20.7)
養成校教員	14	(6.7)	法人及び個人
その他	14	(6.7)	株式会社、有限会社 (特例有限会社)、 47 (22.6)
			合同会社、合資会社、合名会社等の営利 法人
			生活協同組合、農業協同組合、企業組 2 (1.0)
			合等の協同組合
			その他 5 (2.4)

注 「介護福祉職」：介護職員、訪問介護員、生活支援員等 ※直接介護を行う職種
「相談援助職」：生活相談員、支援相談員、相談支援従事者等
「介護支援専門員等」：介護支援専門員、計画作成担当者、サービス管理責任者
「管理者等」：管理者、管理責任者、所長、施設長等

2. 日本介護福祉士会の取組に対する認知度・評価

「日本介護福祉士会の取組について、あなたはどのくらい知っていますか？」と、日本介護福祉士会の取組のうち、6つの分野 20 の取組について、「知っている」「少し知っている」「あまり知らない」「知らない」の4つから回答する方式で質問した。

また、「日本介護福祉士会の取組について、あなたはどのように感じていますか？」と、同取組について、「評価する」「少し評価する」「あまり評価しない」「評価しない」の4つから回答する方式で質問した。

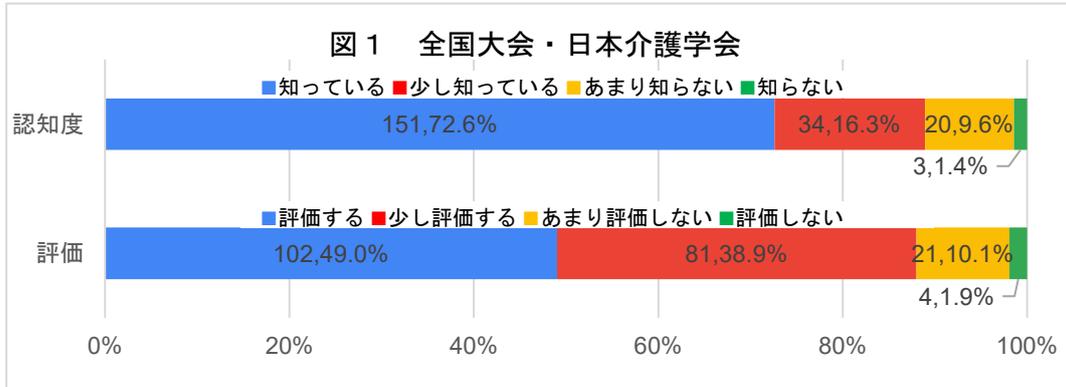
6つの分野 20 の取組については、以下のとおりである。

<p>【研修等】 全国大会・日本介護学会、生涯研修体系、リーダー研修会 (講師養成研修)、デジタル・テクノロジー基本研修</p> <p>【認定介護福祉士】 認定介護福祉士に関する事業</p> <p>【外国人介護人材のための資格取得支援】 国際介護人材支援 Web サイト「にほんごをまなぼう」、国際介護人材のための学習テキスト、介護職種の技能実習指導員講習</p> <p>【学術研究等】 実践現場のための専門誌「介護福祉士」、研究倫理審査、就労実態調査</p> <p>【普及啓発・広報】 タウンミーティング、日本介護福祉士会 HP・SNS 等、会報誌「日本介護福祉士会ニュース Rashiku」、「介護福祉士の本」、こども霞が関見学デーへの出展、「介護の日」企画 無料映画配信</p>
--

(1) 【研修等】に対する認知度・評価

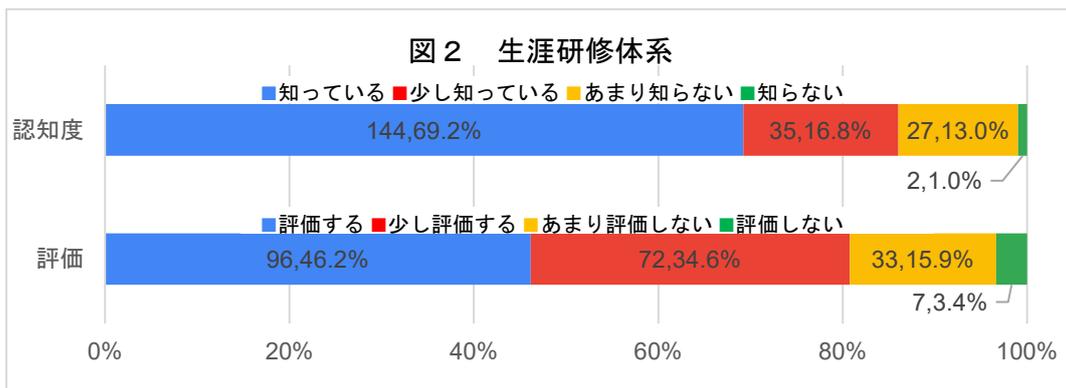
○全国大会・日本介護学会

全国大会・日本介護学会に対する認知度・評価は「知っている」151件(72.6%)、「評価する」102件(49.0%)が最も多かった。



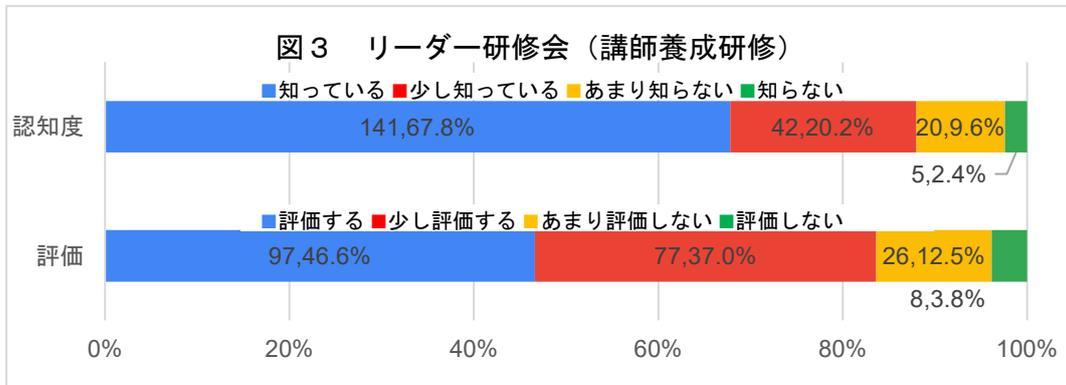
○生涯研修体系

生涯研修に対する認知度・評価は「知っている」144件(69.2%)、「評価する」96件(46.2%)が最も多かった。



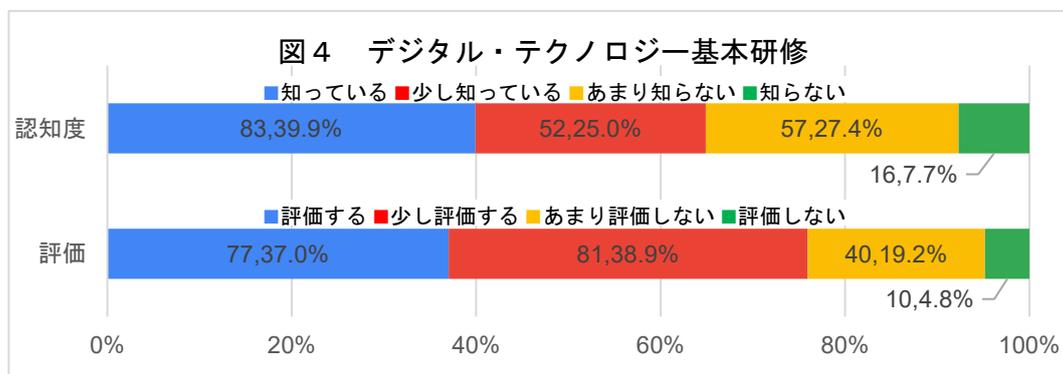
○リーダー研修会（講師養成研修）

リーダー研修会（講師養成研修）に対する認知度・評価は「知っている」141件(67.8%)、「評価する」97件(46.6%)が最も多かった。



○デジタル・テクノロジー基本研修

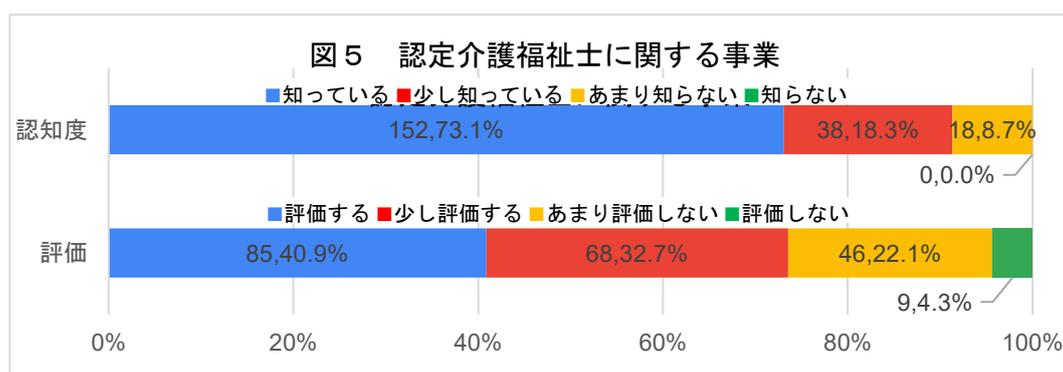
デジタル・テクノロジー基本研修に対する認知度・評価は「知っている」83件（39.9%）、「少し評価する」81件（38.9%）が最も多かった。



(2) 【認定介護福祉士】に対する認知度・評価

○認定介護福祉士に関する事業（認定介護福祉士認証・認定機構）

認定介護福祉士に関する事業に対する認知度・評価は「知っている」152件（73.1%）、「評価する」85件（40.9%）が最も多かった。

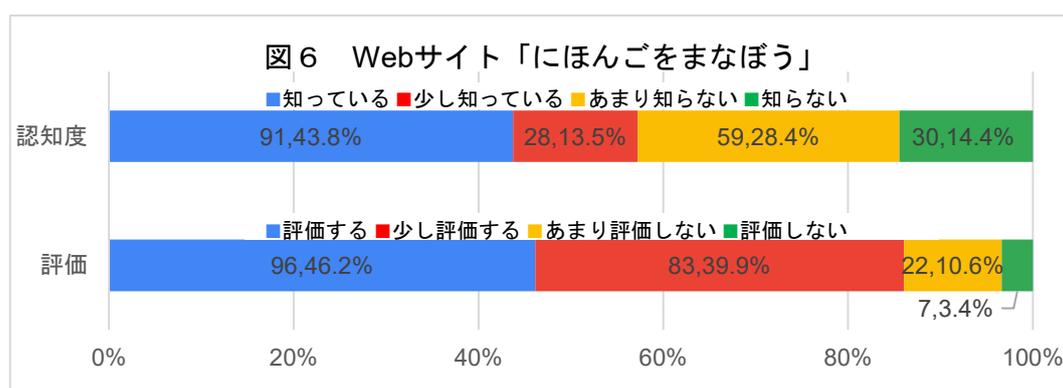


(3) 【外国人介護人材のための資格取得支援】に対する認知度・評価

○国際介護人材支援 Web サイト「にほんごをまなぼう」

国際介護人材支援 Web サイト「にほんごをまなぼう」に対する認知度・評価は「知っている」91件（43.8%）、「評価する」96件（46.2%）が最も多かった。

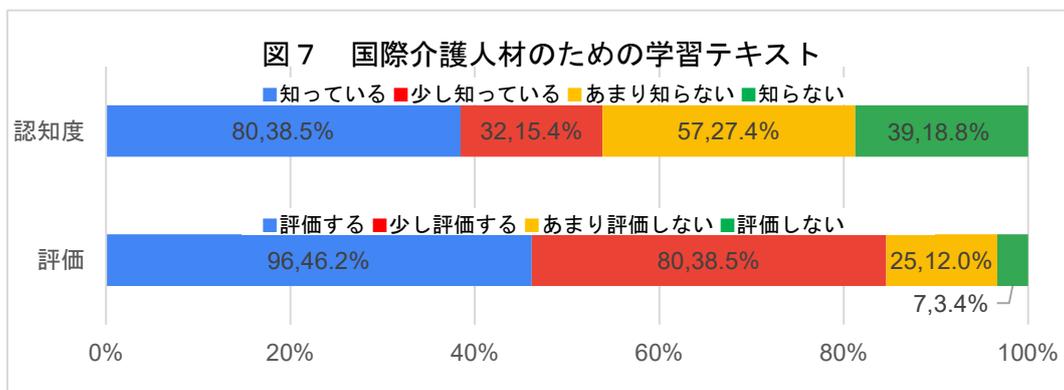
「にほんごをまなぼう」とは、日本語学習、介護の日本語学習、介護の学習のためのテキスト・ドリル等のコンテンツや、外国人介護人材の受け入れ施設・指導者向けのコンテンツを掲載している Web サイトのことである。



○国際介護人材のための学習テキスト

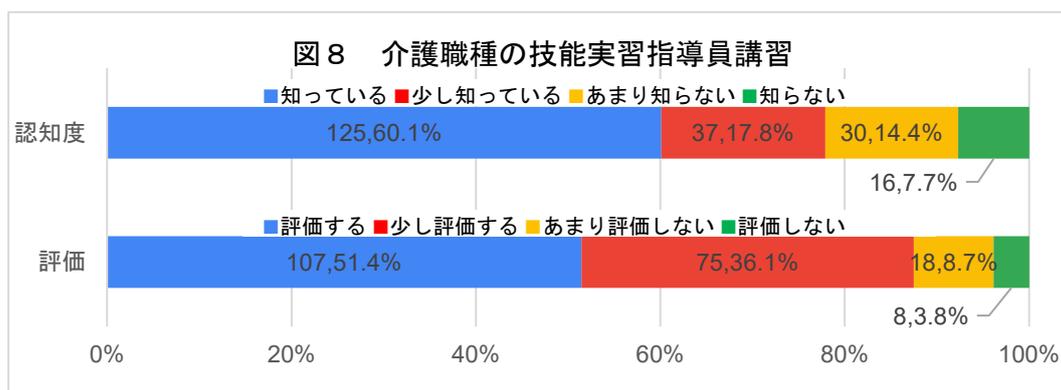
国際介護人材のための学習テキストに対する認知度・評価は「知っている」80件(38.5%)、「評価する」96件(46.2%)が最も多かった。

国際介護人材のための学習テキストには、「学んでみよう日本の介護」、「介護の日本語」、「介護の特定技能評価試験学習テキスト」、「外国人のための介護福祉専門用語集」等があり、前述のWebサイト「にほんごをまなぼう」や厚生労働省HPから閲覧・ダウンロードすることができる。



○介護職種の技能実習指導員講習

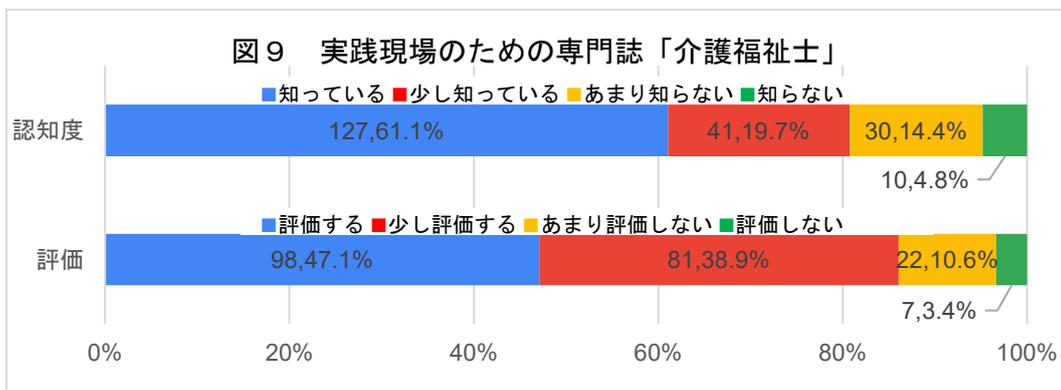
介護職種の技能実習指導員講習に対する認知度・評価は「知っている」125件(60.1%)、「評価する」107件(51.4%)が最も多かった。



(4)【学術研究等】に対する認知度・評価

○実践現場のための専門誌「介護福祉士」

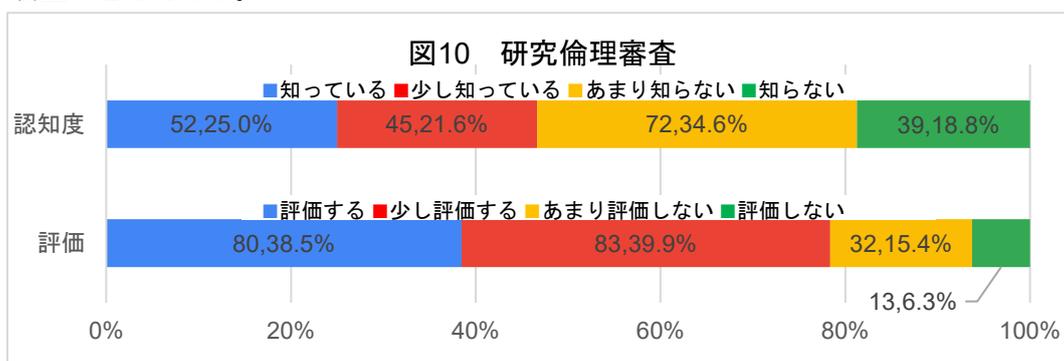
実践現場のための専門誌「介護福祉士」に対する認知度・評価は「知っている」127件(61.1%)、「評価する」98件(47.1%)が最も多かった。



○研究倫理審査

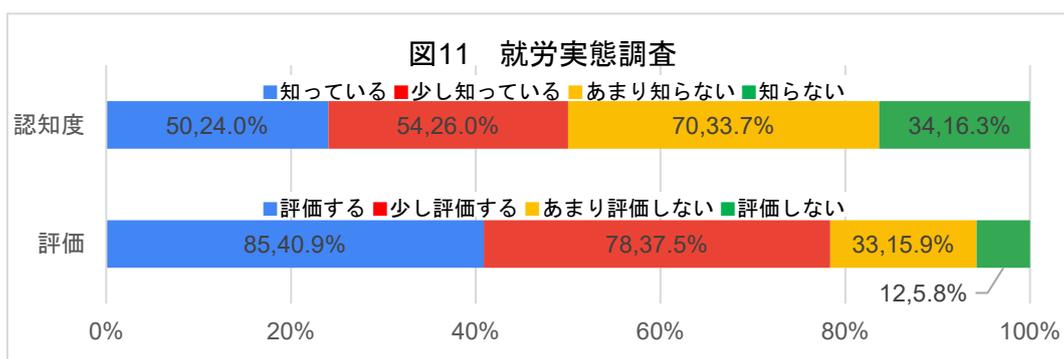
研究倫理審査に対する認知度・評価は「あまり知らない」72件（34.6%）、「少し評価する」83件（39.9%）が最も多かった。

研究倫理審査とは、介護福祉に係る研究を学会での発表や学会誌へ投稿するに当たり、研究倫理審査が求められているものの、所属先等で研究倫理審査を受けることが難しい会員についても研究活動を行えるように、日本介護福祉士会学術推進委員会に設置している研究倫理審査会及びその審査のことである。



○就労実態調査

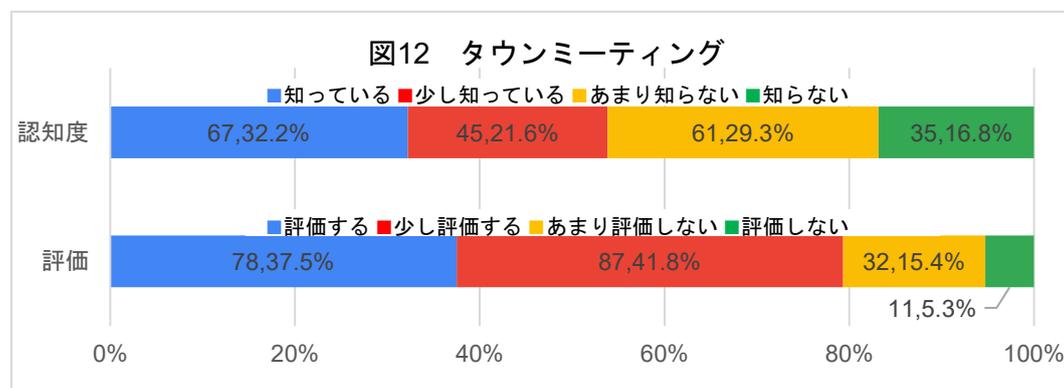
就労実態調査に対する認知度・評価は「あまり知らない」70件（33.7%）、「評価する」85件（40.9%）が最も多かった。



(5) 【普及啓発・広報】に対する認知度・評価

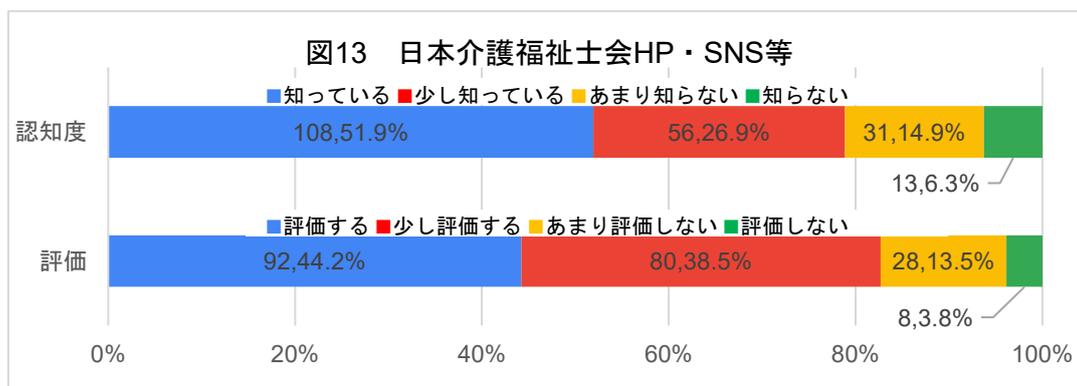
○タウンミーティング

タウンミーティングに対する認知度・評価は「知っている」67件（32.2%）、「少し評価する」87件（41.8%）が最も多かった。



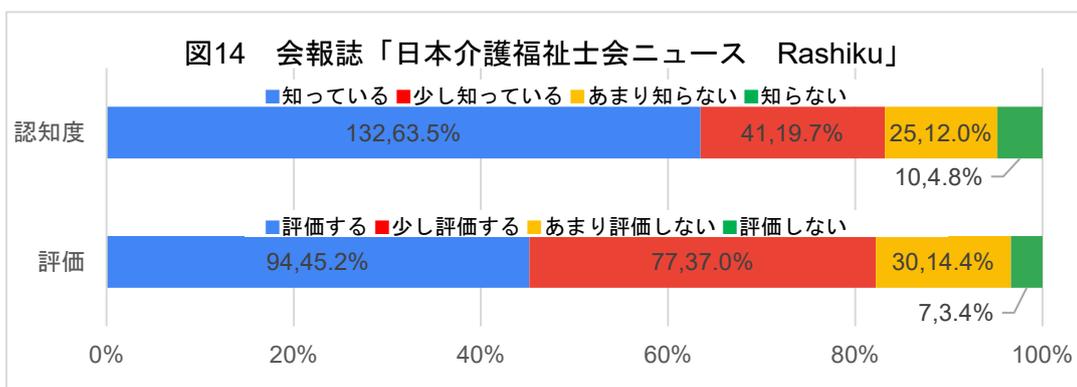
○日本介護福祉士会 HP・SNS等 (note、X (旧 Twitter)、メールマガジン)

日本介護福祉士会 HP・SNS等に対する認知度・評価は「知っている」108件 (51.9%)、「評価する」92件 (44.2%) が最も多かった。



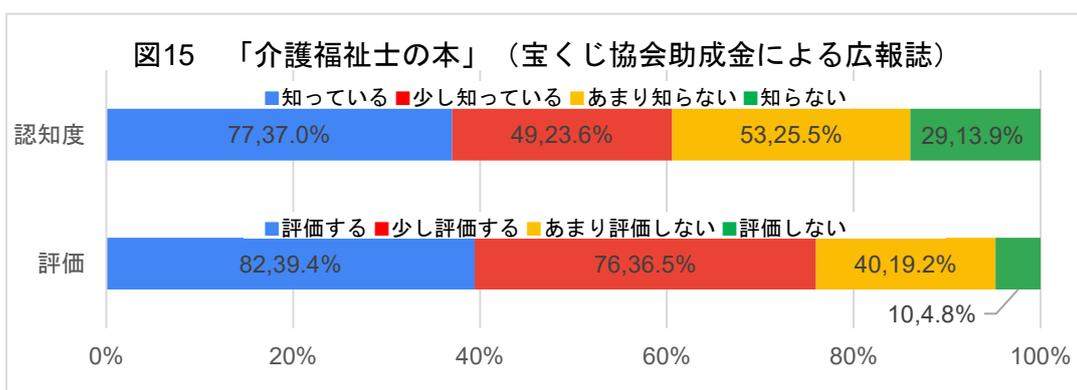
○会報誌「日本介護福祉士会ニュース Rashiku」

会報誌「日本介護福祉士会ニュース Rashiku」に対する認知度・評価は「知っている」132件 (63.5%)、「評価する」94件 (45.2%) が最も多かった。



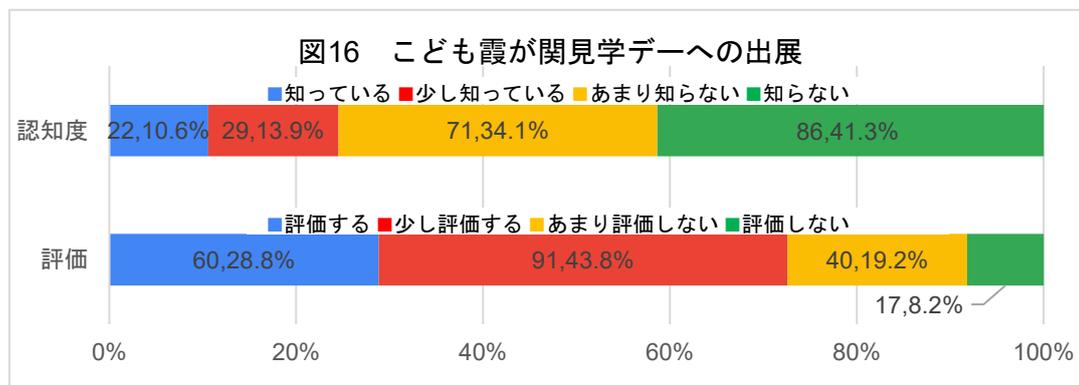
○「介護福祉士の本」(宝くじ協会助成金による広報誌)

「介護福祉士の本」に対する認知度・評価は「知っている」77件 (37.0%)、「評価する」82件 (39.4%) が最も多かった。



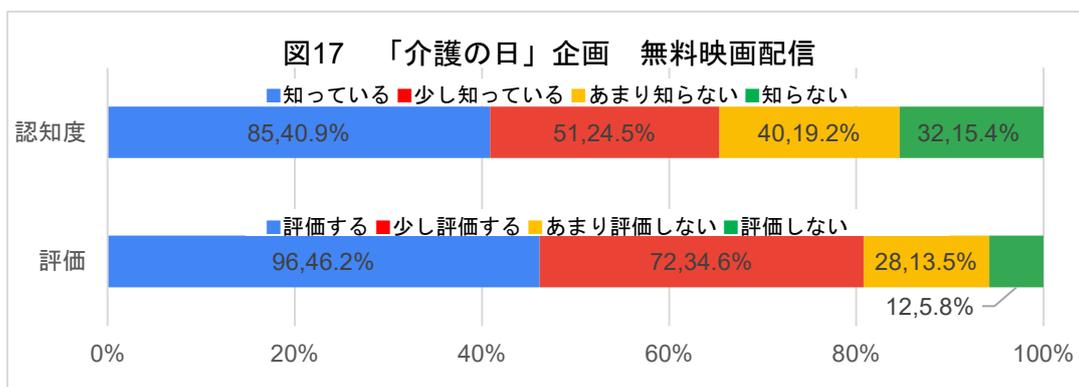
○こども霞が関見学デーへの出展

こども霞が関見学デーに対する認知度・評価は「知らない」86件(41.3%)、「少し評価する」91件(43.8%)が最も多かった。



○「介護の日」企画 無料映画配信

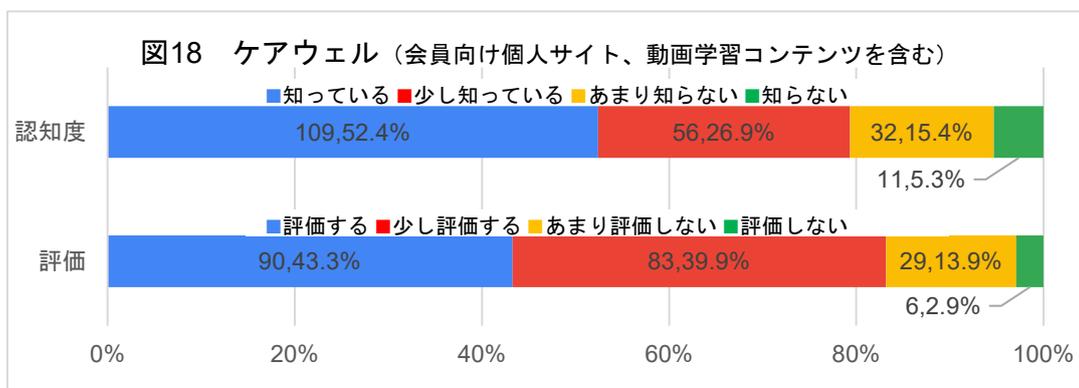
「介護の日」企画 無料映画配信に対する認知度・評価は「知っている」85件(40.9%)、「評価する」96件(46.2%)が最も多かった。



(6) 【その他】に対する認知度・評価

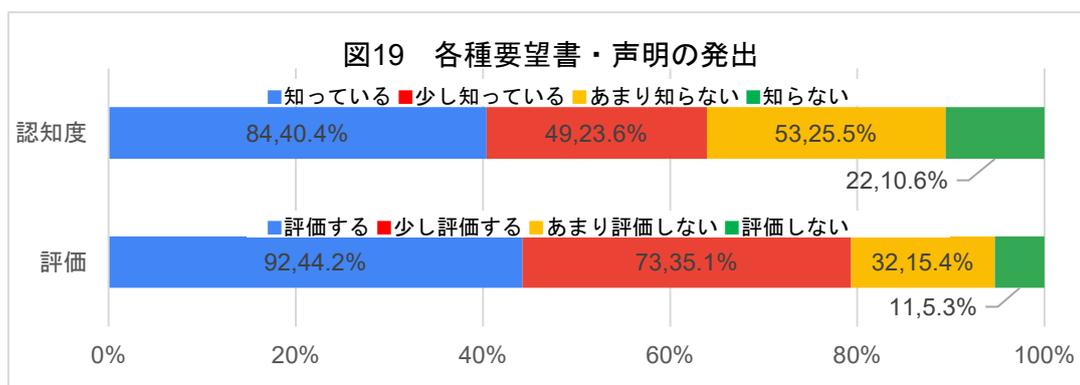
○ケアウェル（会員向け個人サイト、動画学習コンテンツを含む）

ケアウェルに対する認知度・評価は「知っている」109件(52.4%)、「評価する」90件(43.3%)が最も多かった。



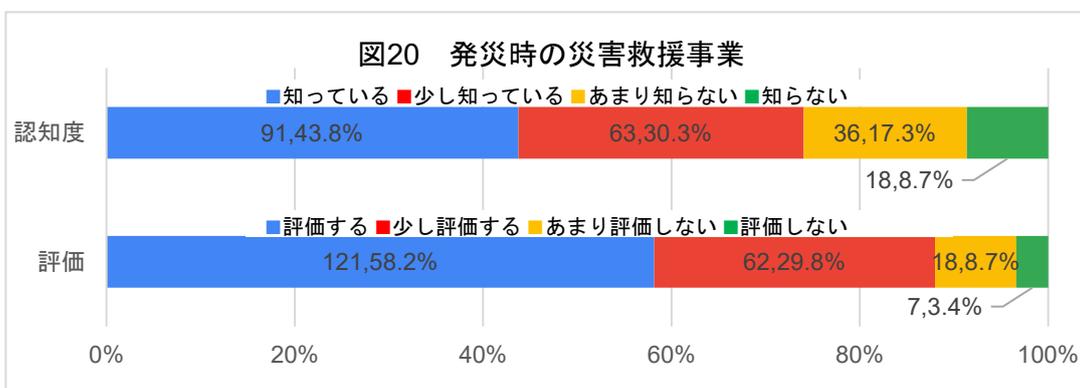
○各種要望書・声明の発出

各種要望書・声明の発出に対する認知度・評価は「知っている」84件（40.4%）、「評価する」92件（44.2%）が最も多かった。



○発災時の災害救援事業

発災時の災害救援事業に対する認知度・評価は「知っている」91件（43.8%）、「評価する」121件（58.2%）が最も多かった。



(7) 日本介護福祉士会の取組に対する認知度・評価の結果を点数化

日本介護福祉士会の取組のうち、6つの分野20の取組に対する認知度・評価について、それぞれ4つの選択肢から回答する方式で質問した。

「日本介護福祉士会の取組について、あなたはどのくらい知っていますか？」に対する回答を、「知っている=4」「少し知っている=3」「あまり知らない=2」「知らない=1」として、「日本介護福祉士会の取組について、あなたはどのように感じていますか？」に対する回答を、「評価する=4」「少し評価する=3」「あまり評価しない=2」「評価しない=1」として点数化し、平均値を算出した。

表4 点数化した認知度・評価の平均値

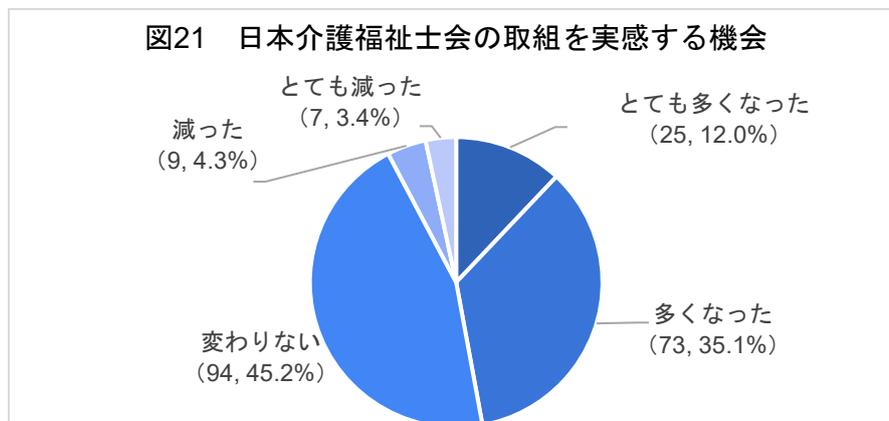
	研修等				認定介護福祉士	外国人介護人材のための資格取得支援		
	全国大会・日本介護学会	生涯研修体系	リーダー研修会（講師養成研修）	デジタル・テクノロジー基本研修	認定介護福祉士に関する事業	Webサイト「にほんごをまなぼう」	国際介護人材のための学習テキスト	介護職種の議場実習指導員講習
認知度	3.60	3.54	3.53	2.97	3.64	2.87	2.74	3.30
評価	3.35	3.24	3.26	3.08	3.10	3.29	3.27	3.35

	学術研究等			普及啓発・広報					
	専門誌「介護福祉士」	研究倫理審査	就労実態調査	タウンミーティング	HP・SNS等	ニュースRashiku	介護福祉士の本	こども霞が関見学デー	無料映画配信
認知度	3.37	2.53	2.58	2.69	3.25	3.42	2.84	1.94	2.91
評価	3.30	3.11	3.13	3.12	3.23	3.24	3.11	2.93	3.21

	その他		
	ケアウェル	要望書・声明の発出	災害救援事業
認知度	3.26	2.94	3.09
評価	3.24	3.18	3.43

3. 日本介護福祉士会の取組を実感する機会

「昨年度に比べて日本介護福祉士会の取組を実感する機会は、増えていますか？」と質問したところ、「変わらない」94件（45.2%）が最も多かった。「とても多くなった」「多くなった」の合計は98件（47.1%）であり、取組を実感する機会が「増えた」と感じている方と、「変わらない」と感じている方の割合は近いものであった。



(参考) 会員になってからの年数×日本介護福祉士会の取組に対する認知度・評価

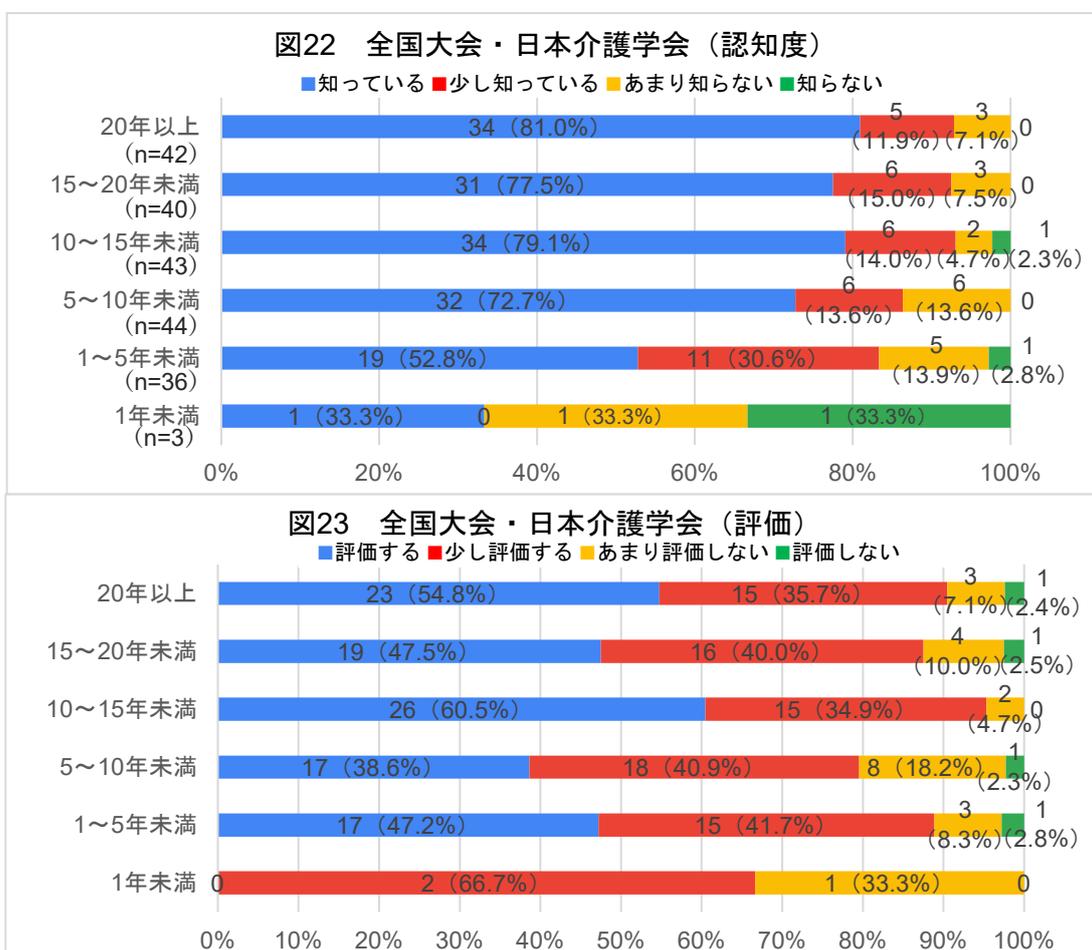
「日本介護福祉士会及び都道府県介護福祉士会の会員になってから、現在までの期間を教えてください」と、「日本介護福祉士会の取組について、あなたはどのくらい知っていますか?」、「日本介護福祉士会の取組について、あなたはどのように感じていますか?」の質問・回答について、クロス集計を行った。

なお、「1.基本属性 (2) 回答者が介護福祉士会の会員になってからの年数」で示しているとおり、1年未満を除いて、会員になってからの各年数の構成割合は近似したものであった。

(1) (クロス集計) 【研修等】に対する認知度・評価

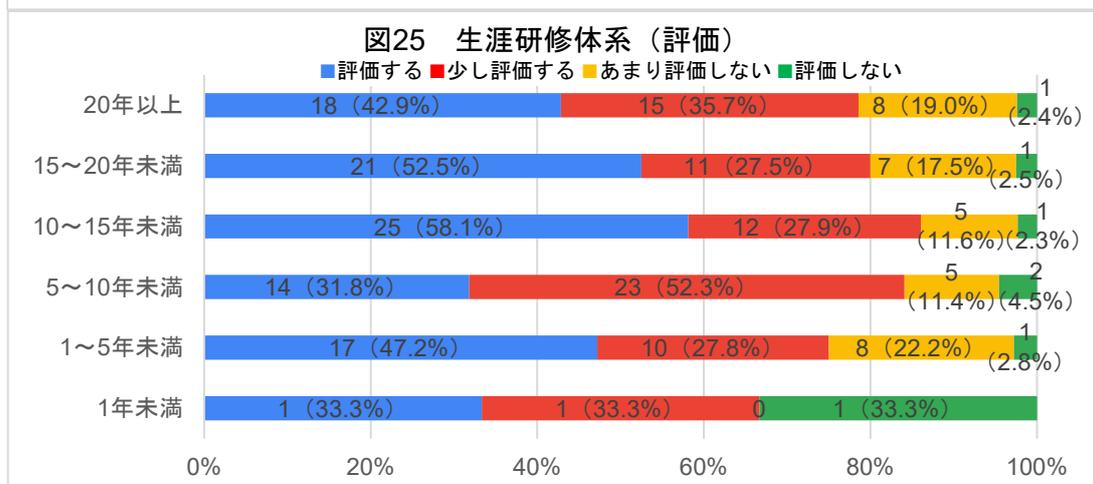
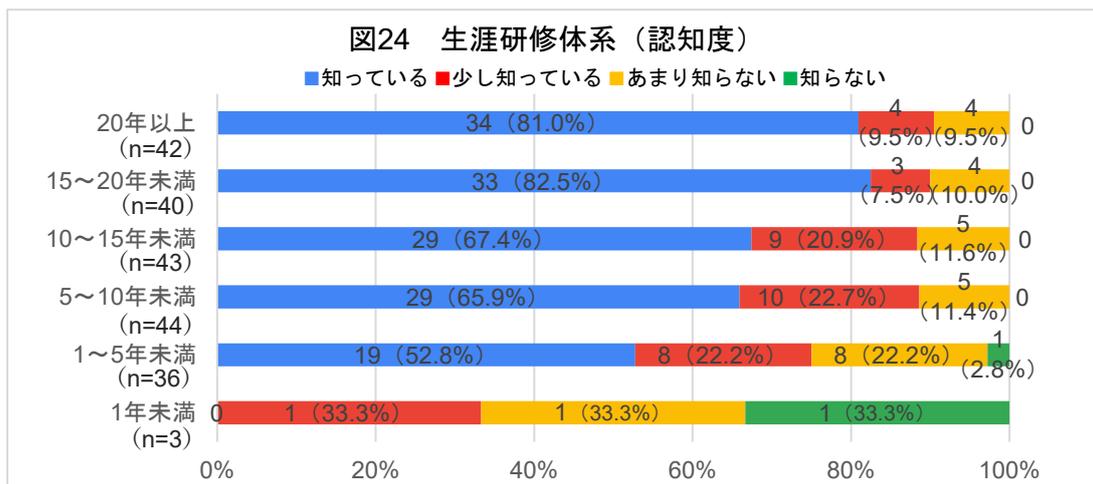
○全国大会・日本介護学会

入会后5年未満では、全体と比べると「知っている」の割合が小さい。入会后10～15年未満で、「評価する」の割合が全体や他の層と比べると大きい。



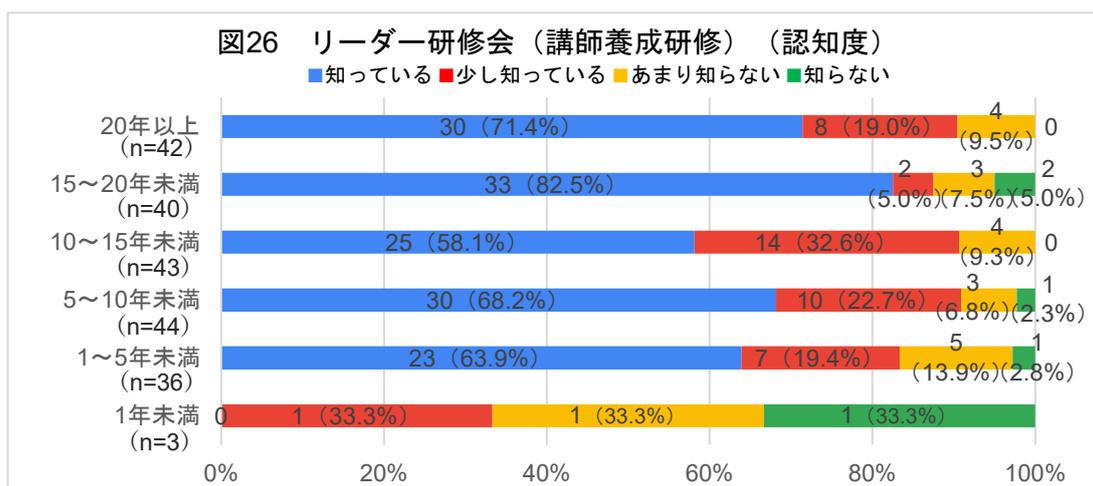
○生涯研修体系

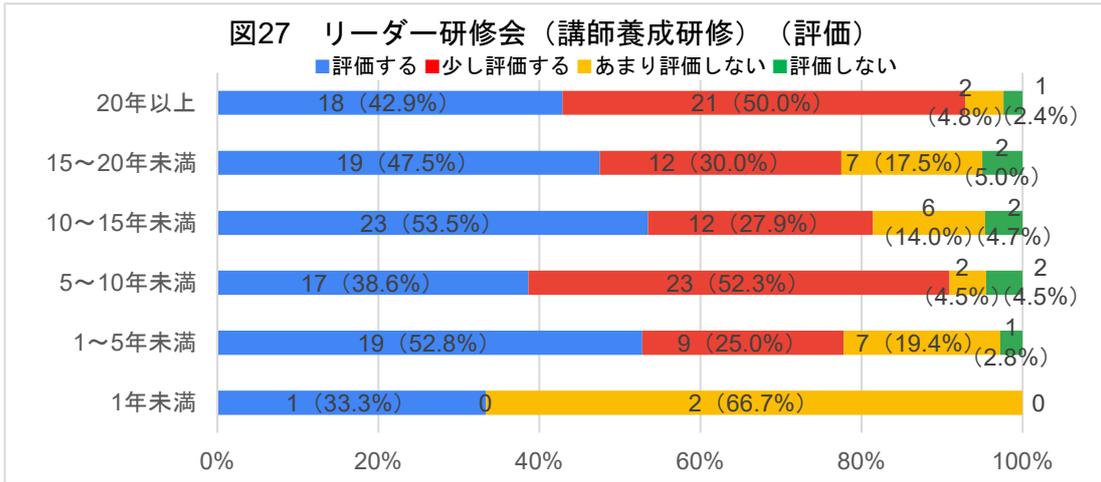
入会后15年以上では「知っている」の割合が8割に達している。入会后5～10年未満においては、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。また、入会后15年以上で「あまり評価しない」の割合がやや増加している。



○リーダー研修会（講師養成研修）

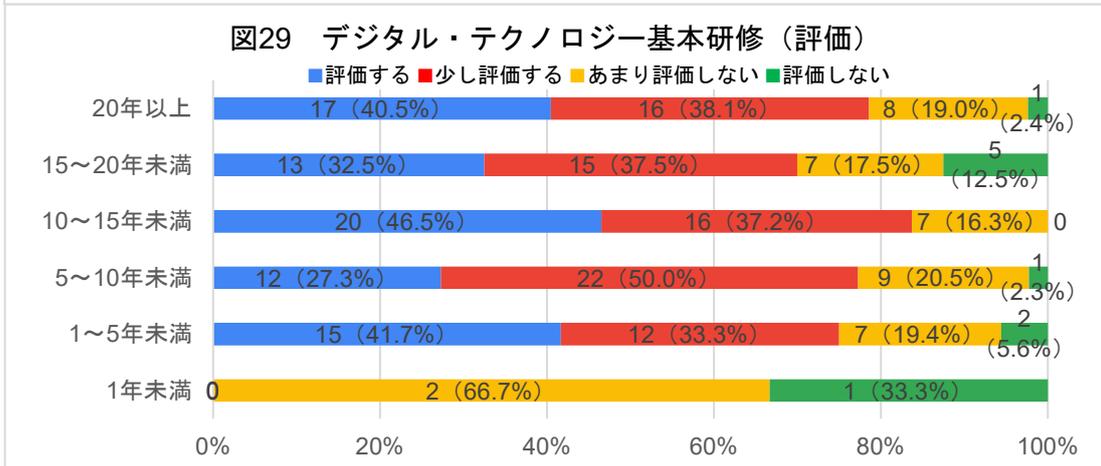
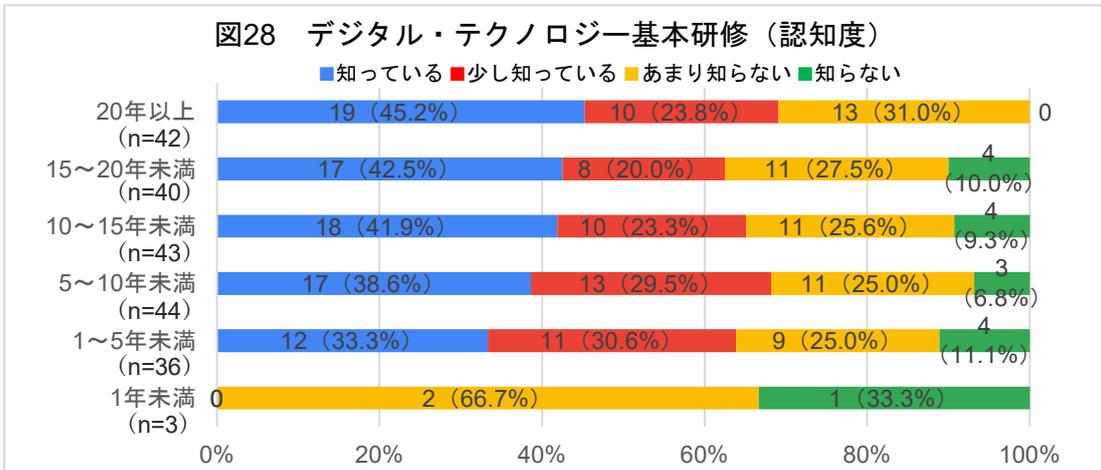
入会后 10～15年未満においては「知っている」と「少し知っている」の割合が、入会后 5～10年未満では「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。





○デジタル・テクノロジー基本研修

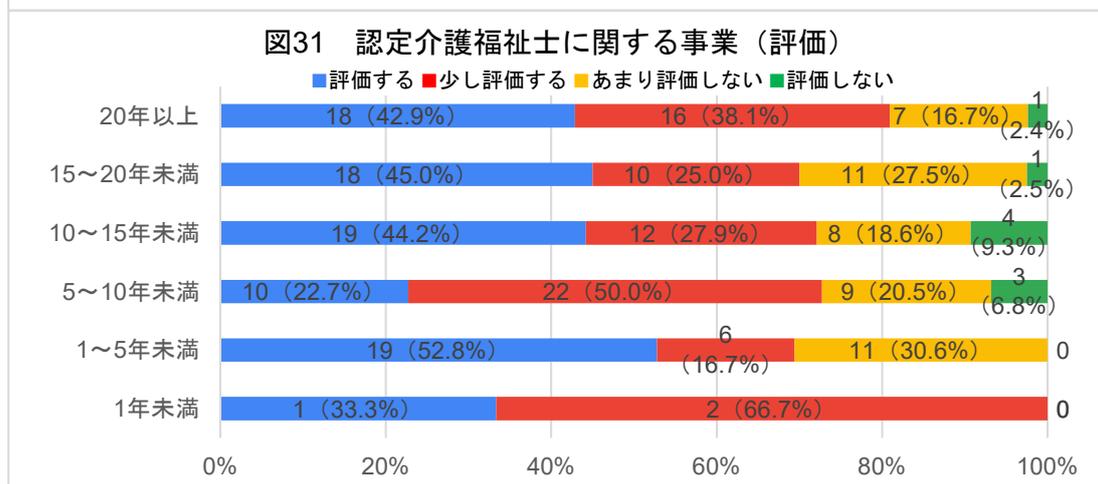
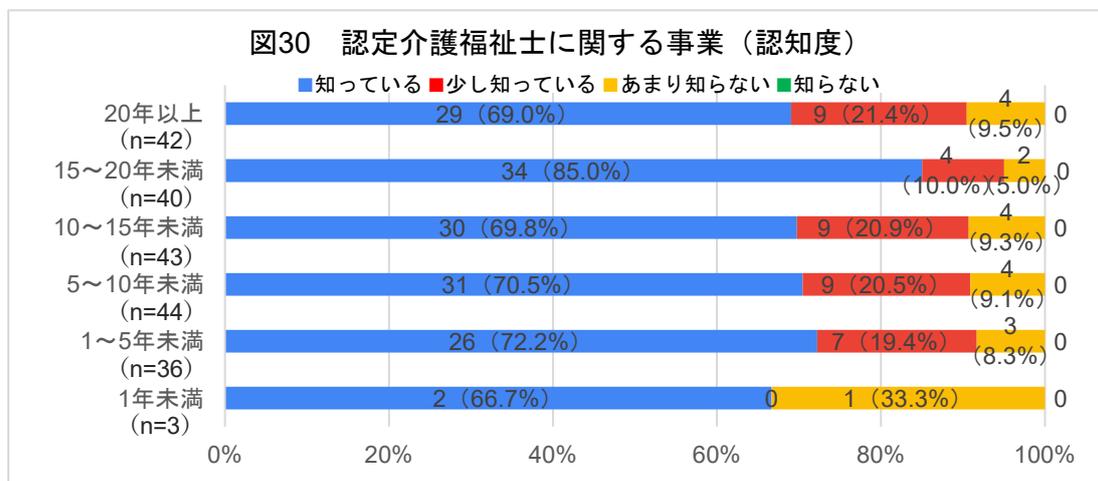
入会後の年数によって、「評価する」と「少し評価する」の割合に違いがみられる。



(2) (クロス集計)【認定介護福祉士】に対する認知度・評価

○認定介護福祉士に関する事業（認定介護福祉士認証・認定機構）

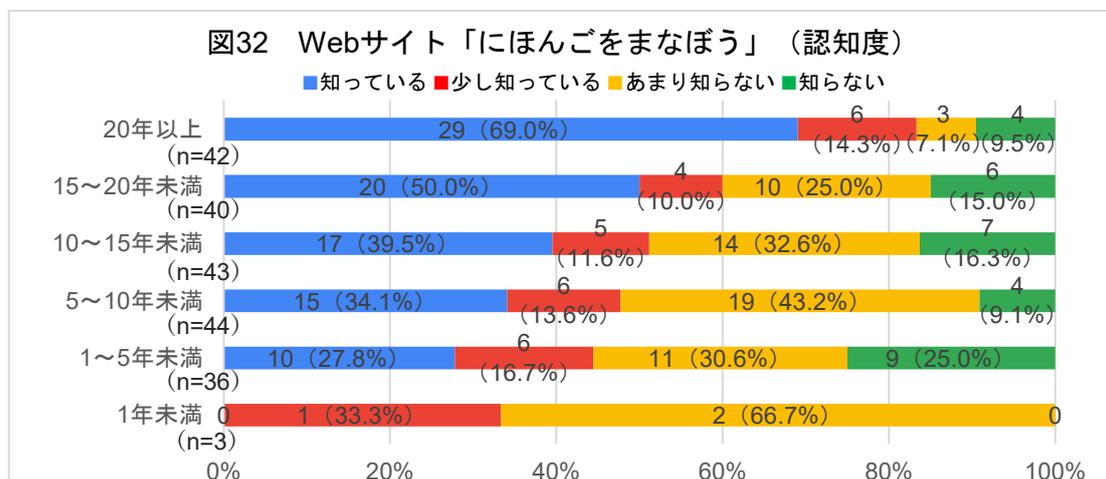
入会后 5～10 年未満においては、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。

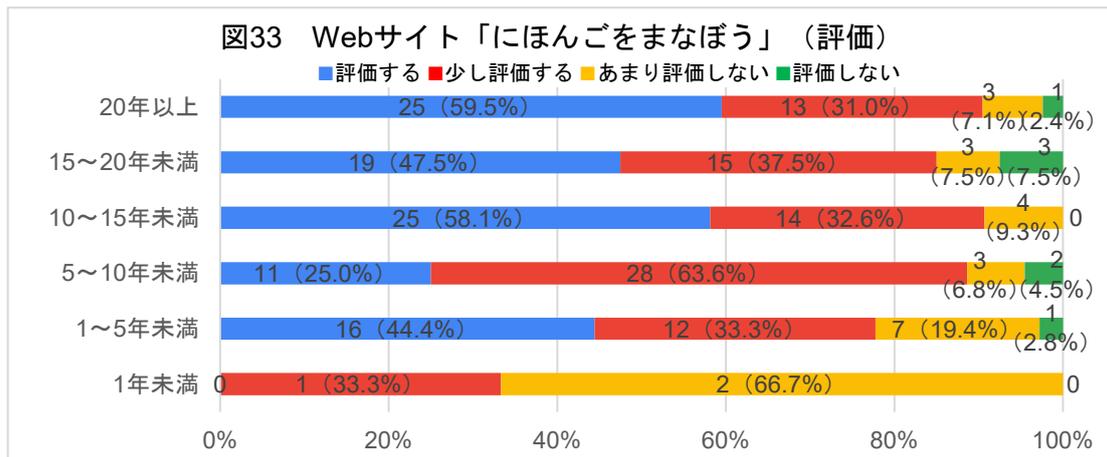


(3) (クロス集計)【外国人介護人材のための資格取得支援】に対する認知度・評価

○国際介護人材支援 Web サイト「にほんごをまなぼう」

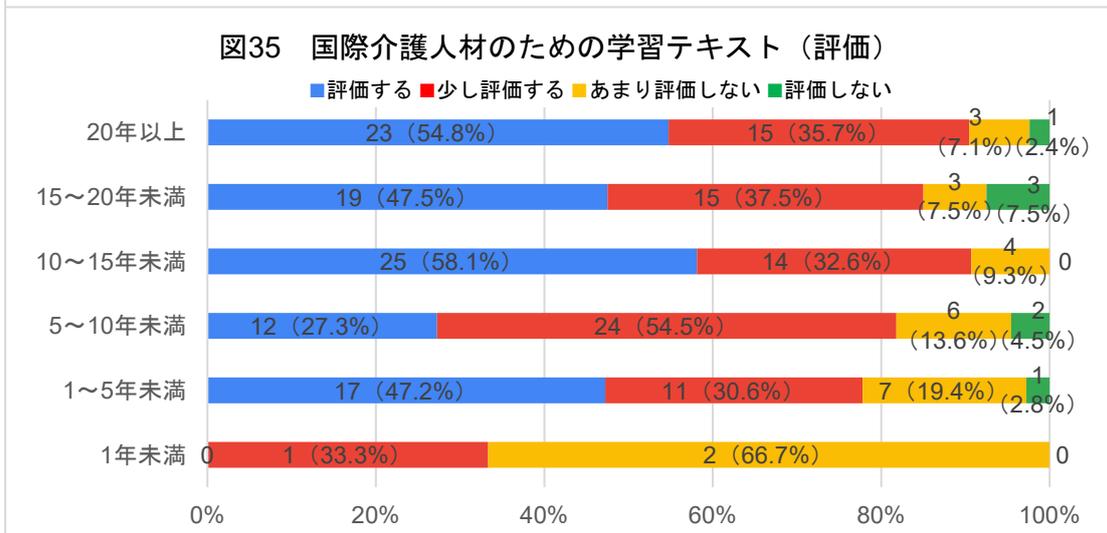
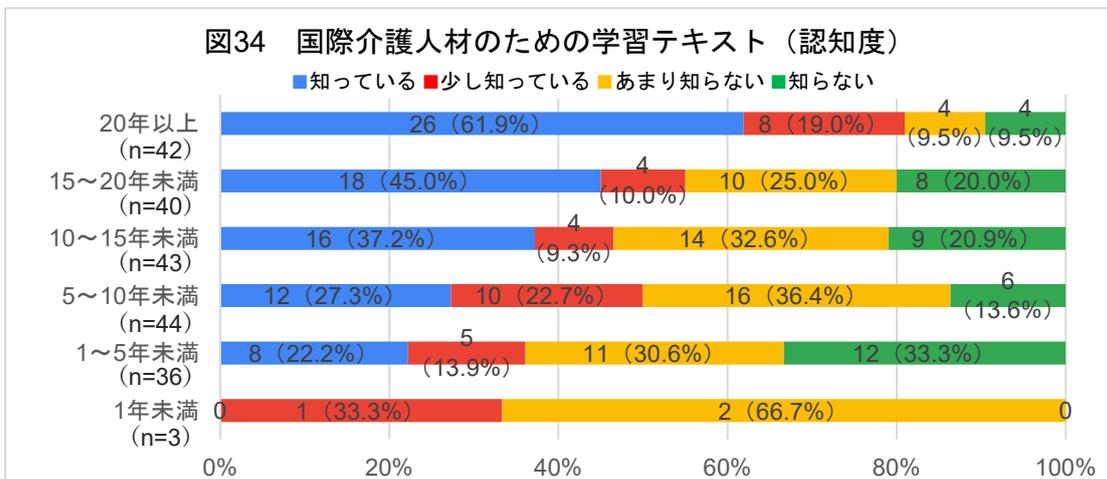
入会後の年数が増していくにつれて、「知っている」の割合が大きくなっている。入会后 5～10 年未満においては、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。





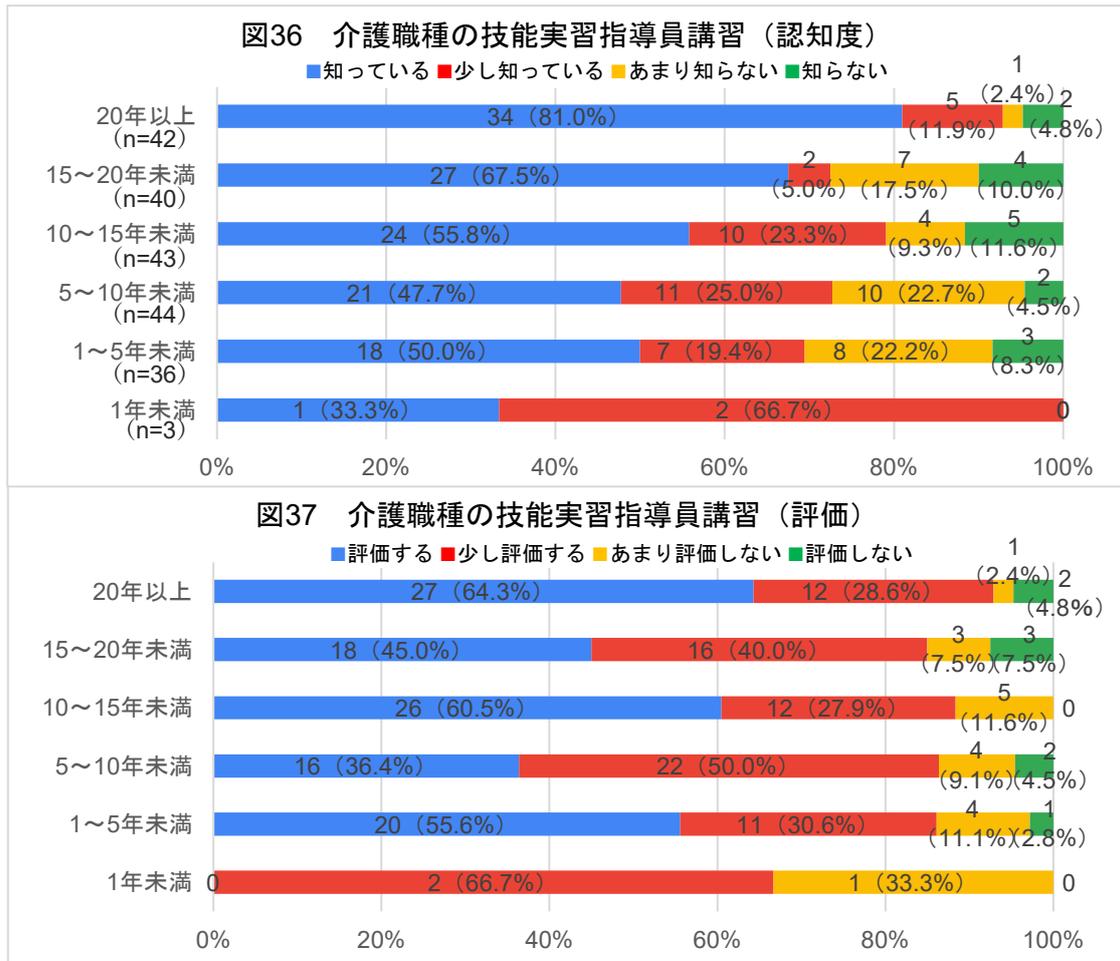
○国際介護人材のための学習テキスト

入会後の年数が増していくにつれて、「知っている」の割合が大きくなっている。入会后5～10年未満においては、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。



○介護職種の技能実習指導員講習

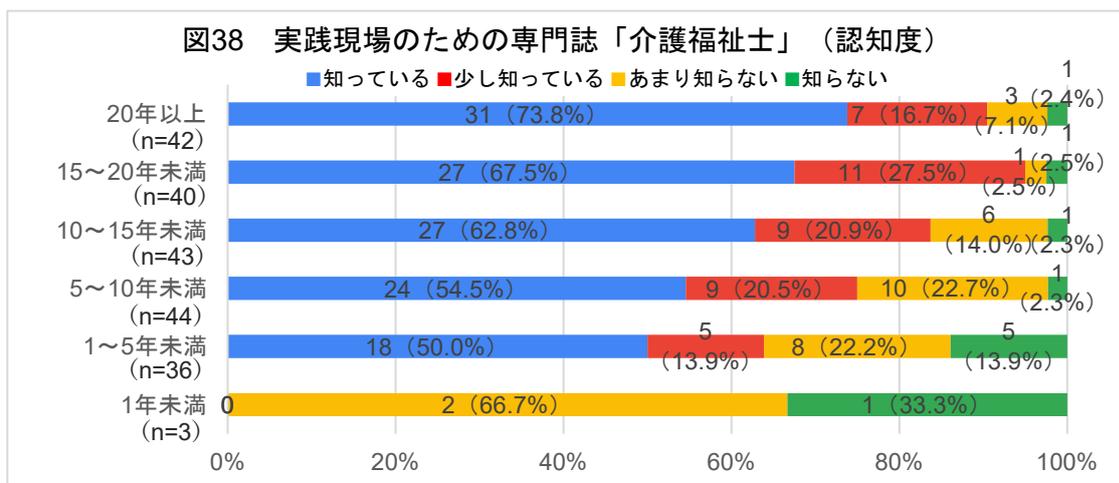
入会後の年数が増していくにつれて、「知っている」の割合が徐々に大きくなっており、入会后20年以上で「知っている」の割合が8割に達している。入会后5～10年未満においては、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。

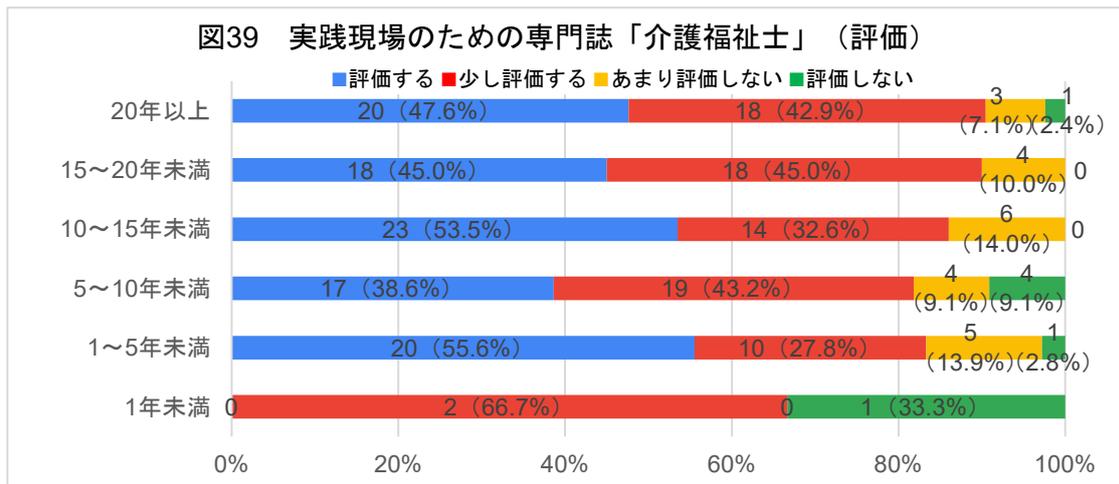


(4) (クロス集計) 【学術研究等】に対する認知度・評価

○実践現場のための専門誌「介護福祉士」

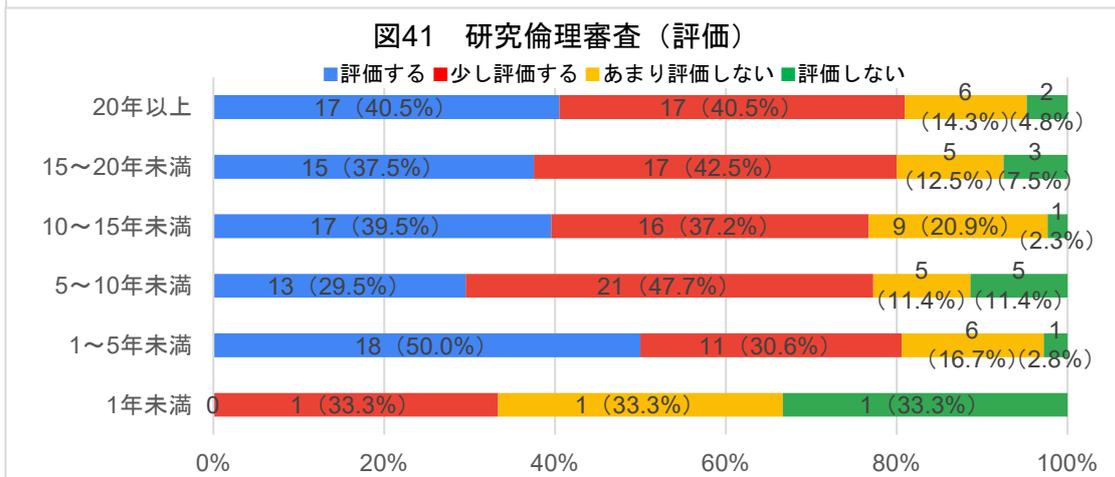
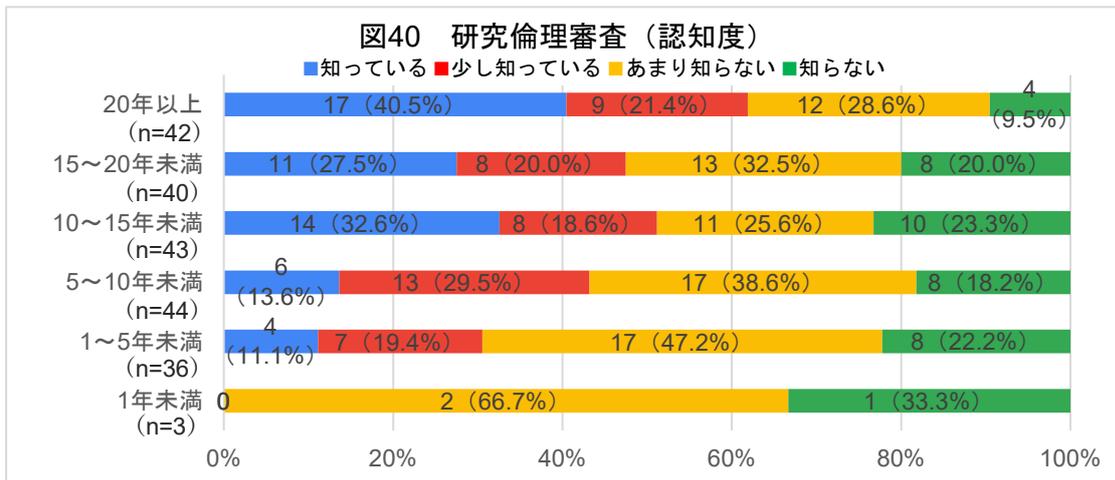
入会後の年数が増していくにつれて、「知っている」の割合が大きくなっている。入会后5～10年未満においては、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。





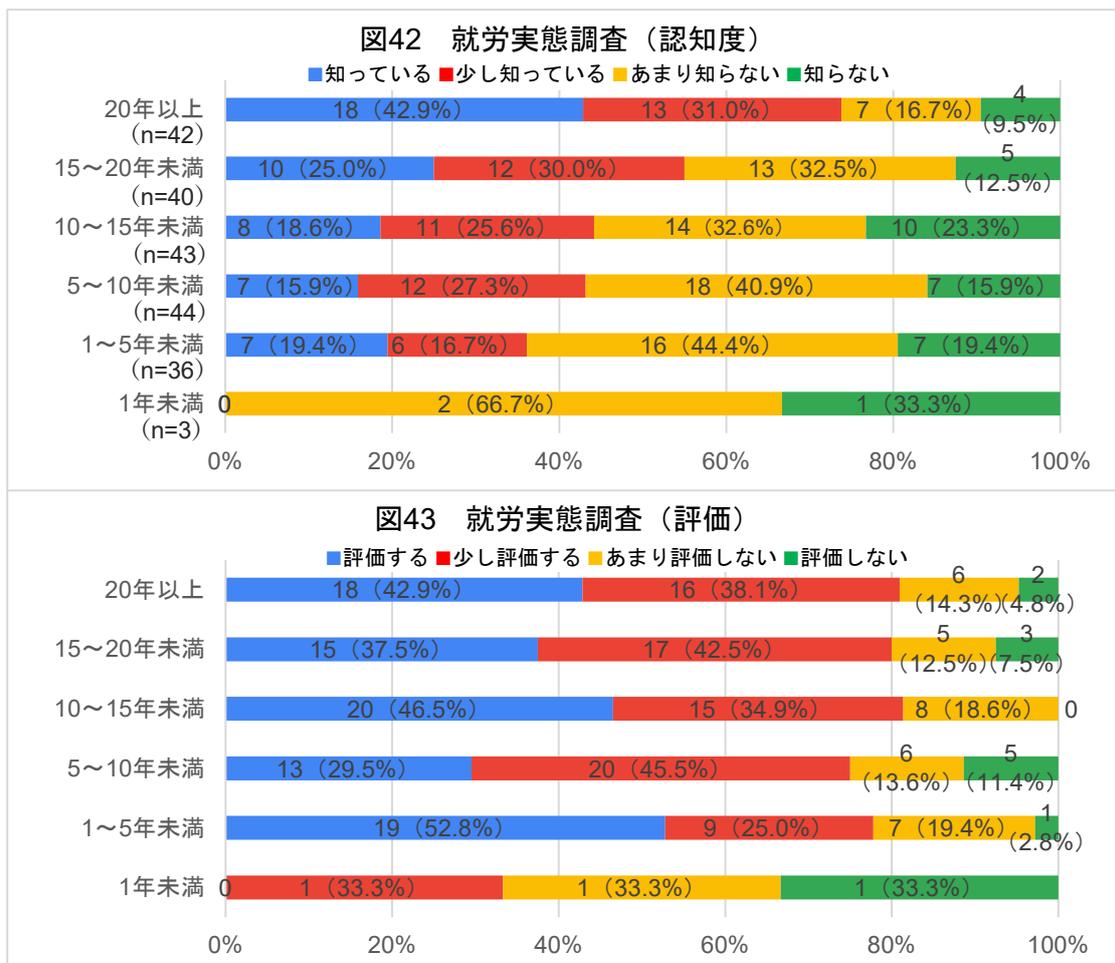
○研究倫理審査

入会后 10 年以上において、「知っている」の割合が全体や他の層に比べて大きくなっている。入会后 5~10 年未満においては、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。



○就労実態調査

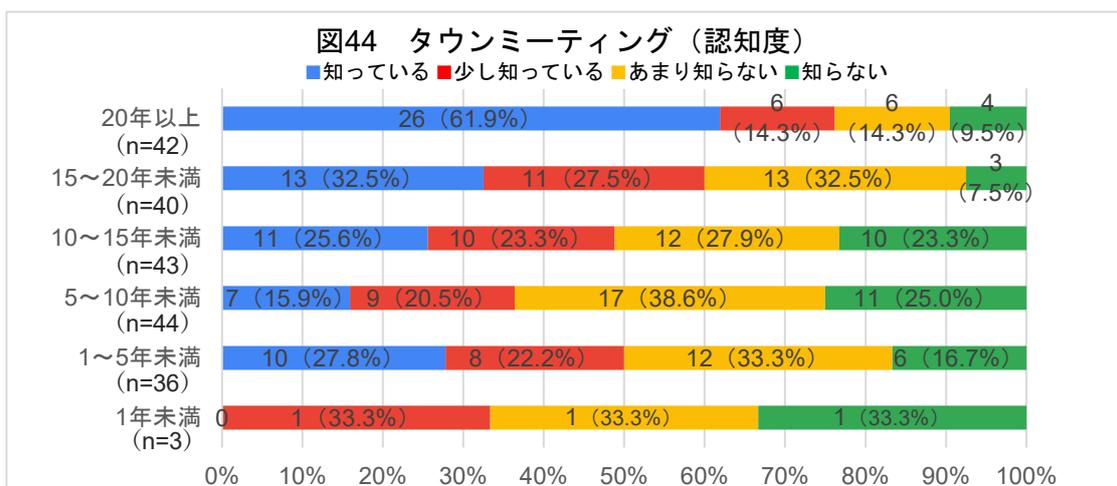
入会后 20 年以上において、「知っている」の割合が全体や他の層に比べて大きくなっている。入会后 5~10 年未満においては、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。

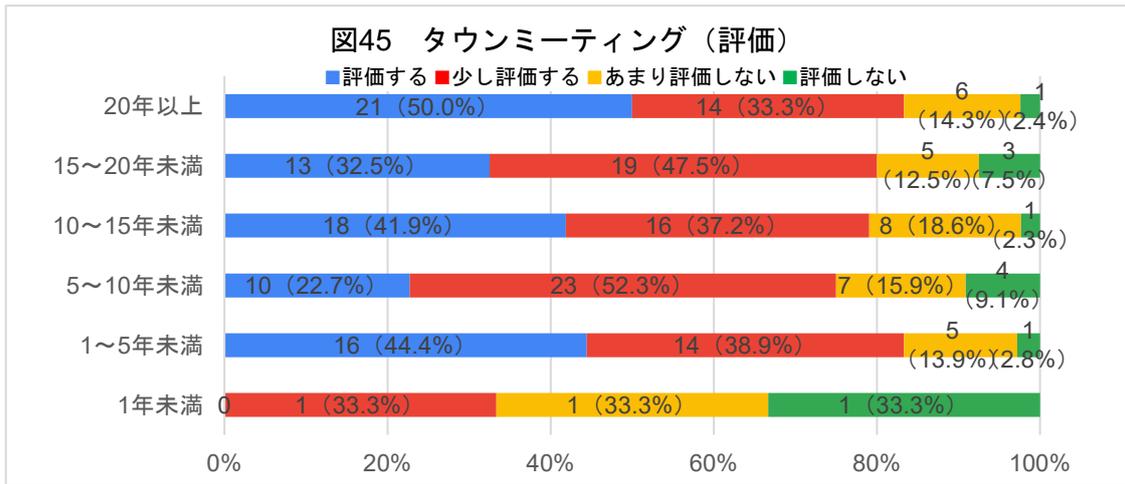


(5) (クロス集計) 【普及啓発・広報】に対する認知度・評価

○タウンミーティング

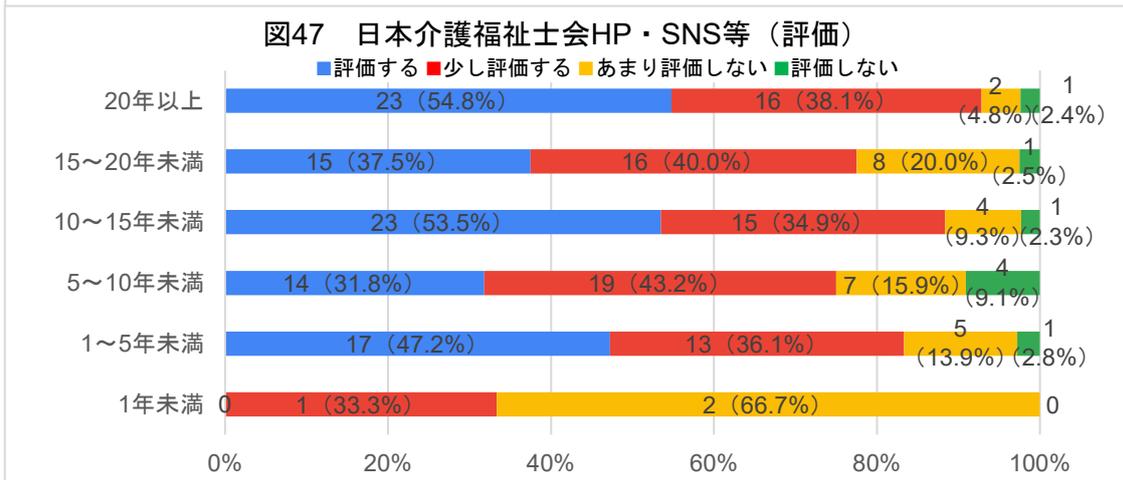
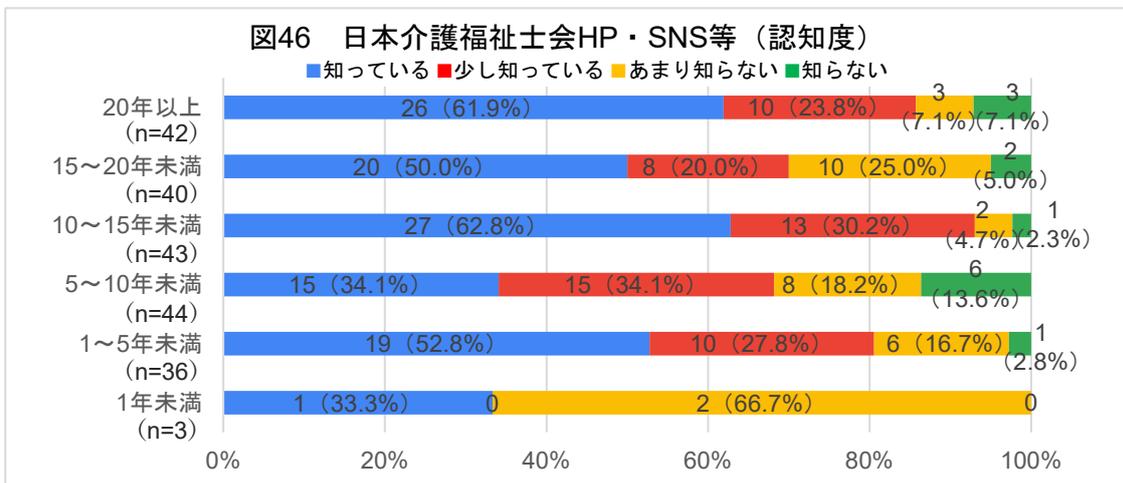
入会后 20 年以上において、「知っている」の割合が全体や他の層に比べて大きくなっている。
 入会後の年数によって、「評価する」と「少し評価する」の割合に違いがみられる。





○日本介護福祉士会 HP・SNS等 (note、X (旧 Twitter)、メールマガジン)

入会后5～10年未満においては、「知っている」と「少し知っている」の割合、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。



○会報誌「日本介護福祉士会ニュース Rashiku」

入会后10～15年未満、20年以上において、「知っている」、「評価する」の割合が全体や他の層に比べて大きくなっている。入会后5～10年未満においては、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。

図48 会報誌「日本介護福祉士会ニュース Rashiku」（認知度）

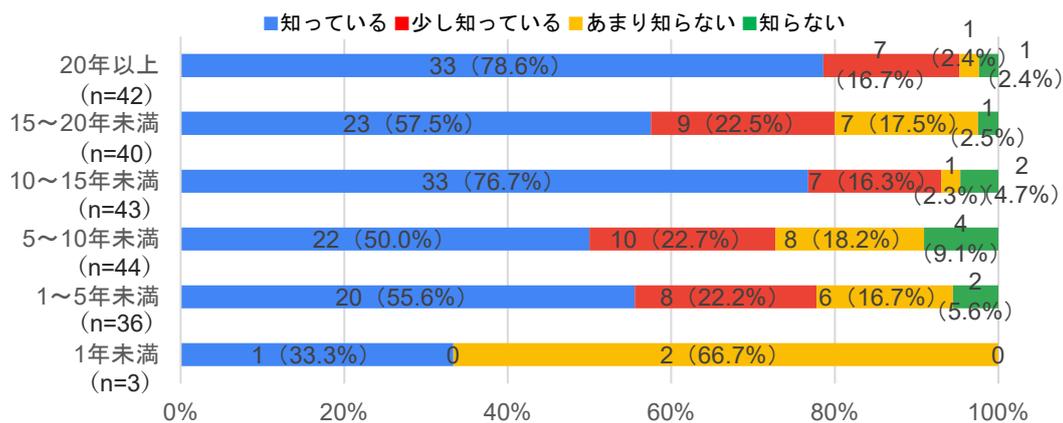
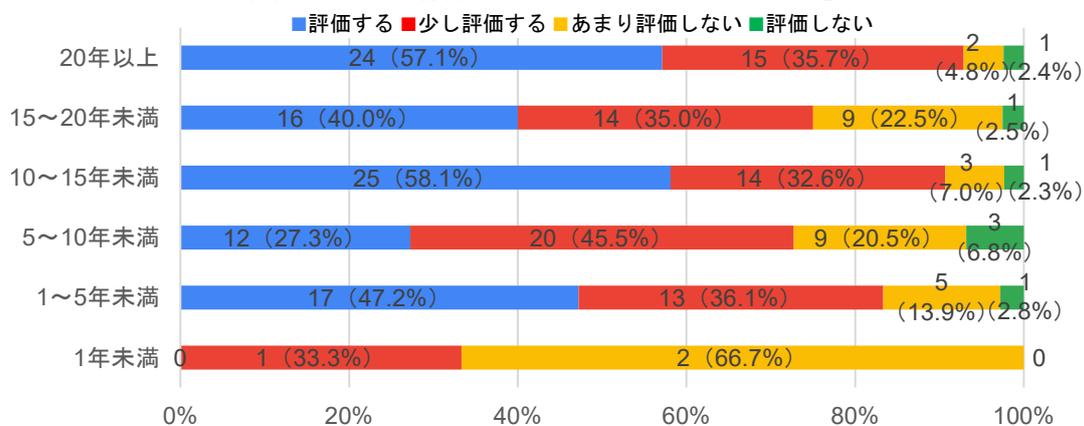


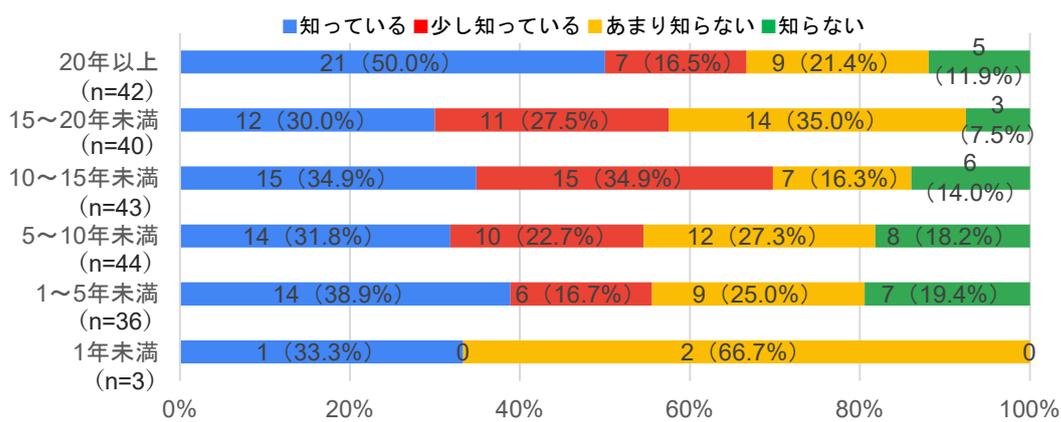
図49 会報誌「日本介護福祉士会ニュース Rashiku」（評価）

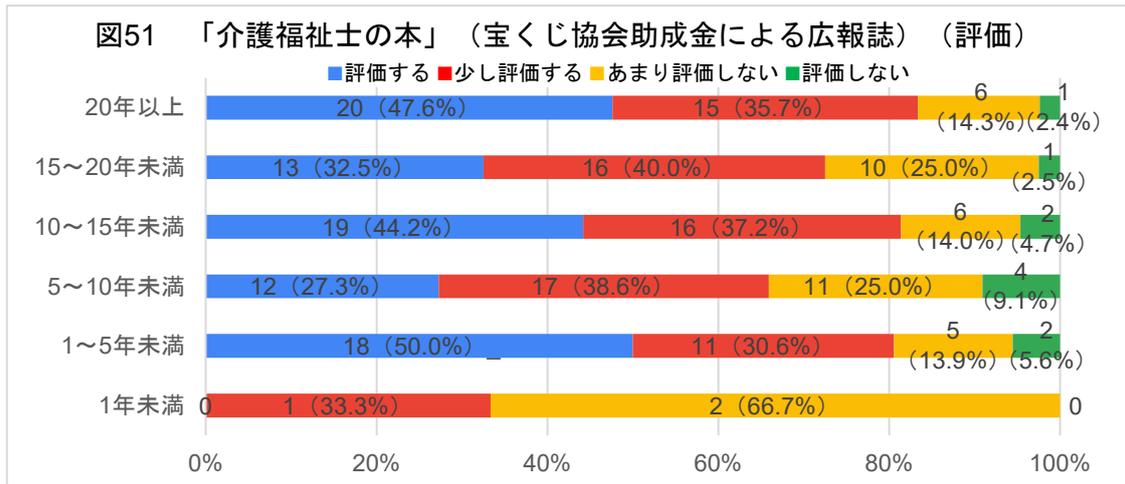


○「介護福祉士の本」（宝くじ協会助成金による広報誌）

入会後20年以上において「知っている」の割合、入会後1～5年未満及び20年以上において「評価する」の割合が、全体や他の層に比べて大きくなっている。

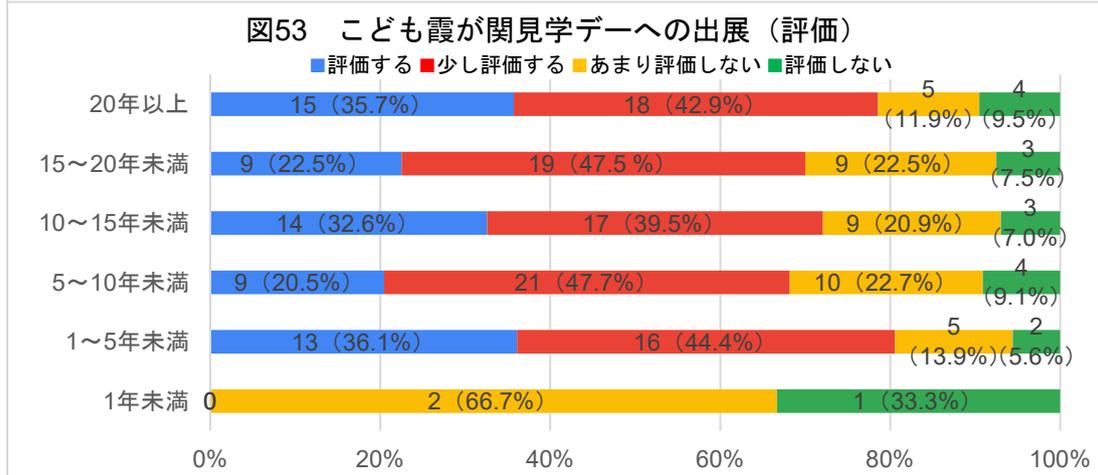
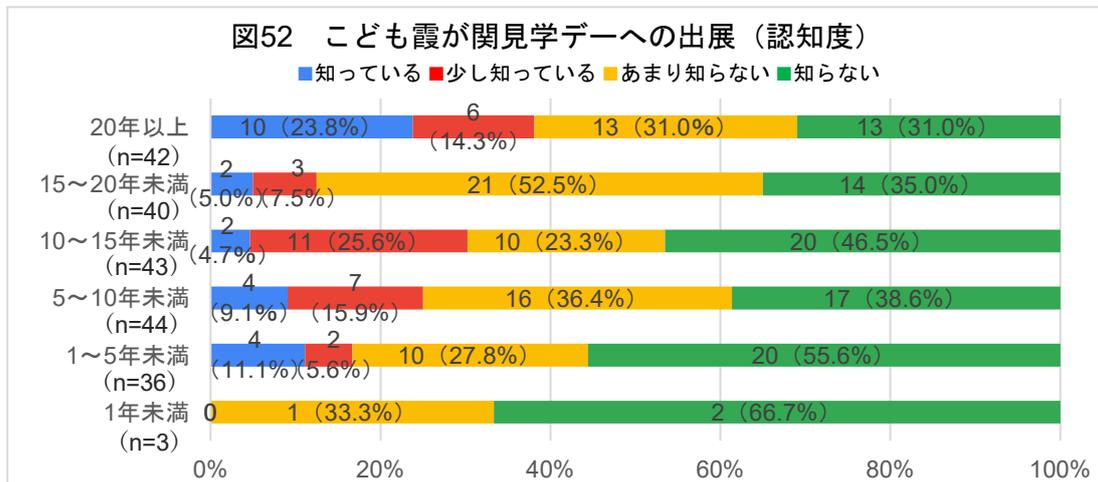
図50 「介護福祉士の本」（宝くじ協会助成金による広報誌）（認知度）





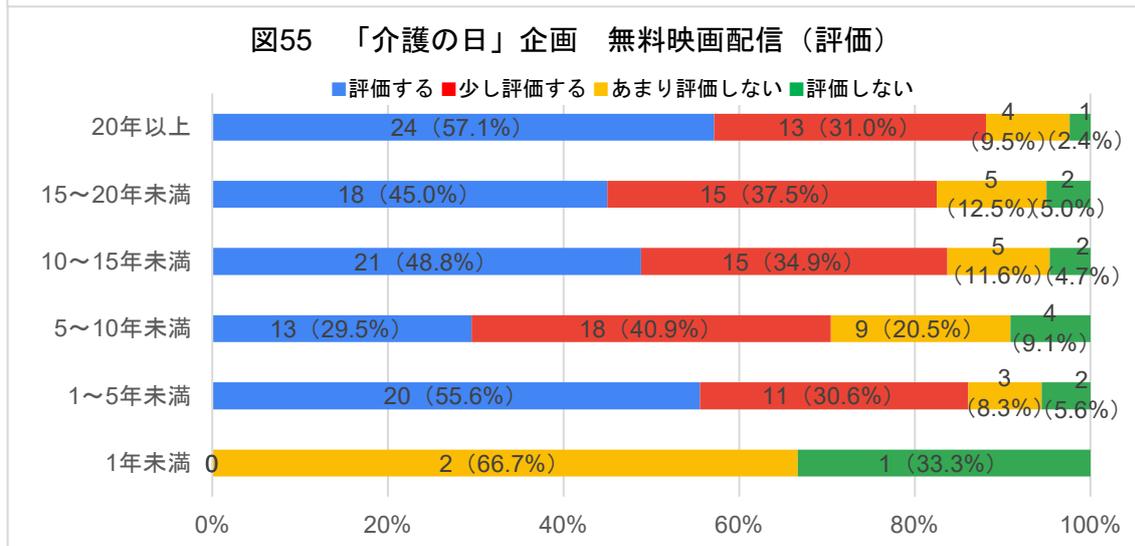
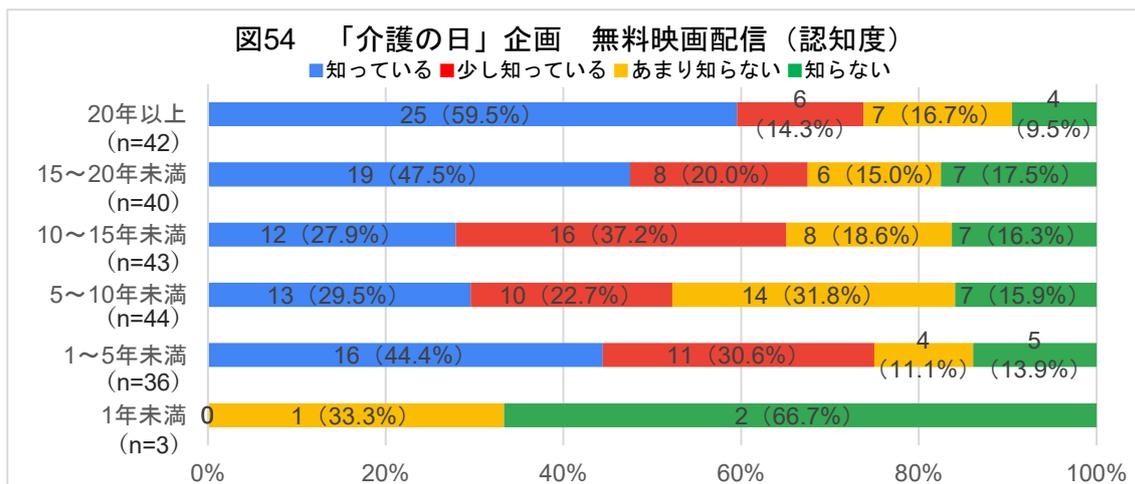
○子ども霞が関見学デーへの出展

入会后 20 年以上において、「知っている」の割合が全体や他の層に比べて大きくなっている。入会後の年数によって、「評価する」と「少し評価する」の割合に違いがみられる。



○「介護の日」企画 無料映画配信

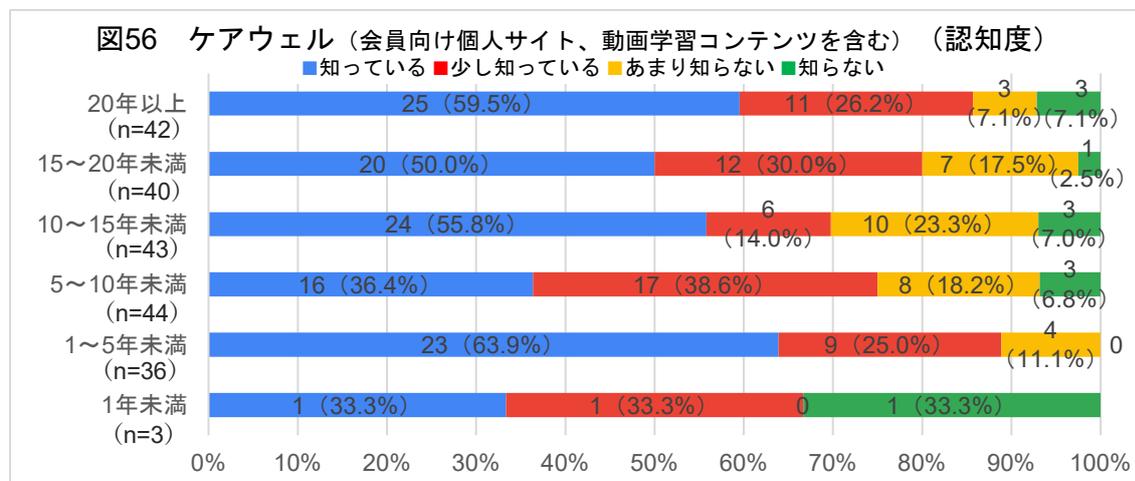
入会后 15 年以上において、「知っている」の割合が全体や他の層に比べて大きくなっている。入会後の年数によって、「評価する」と「少し評価する」の割合に違いがみられる。

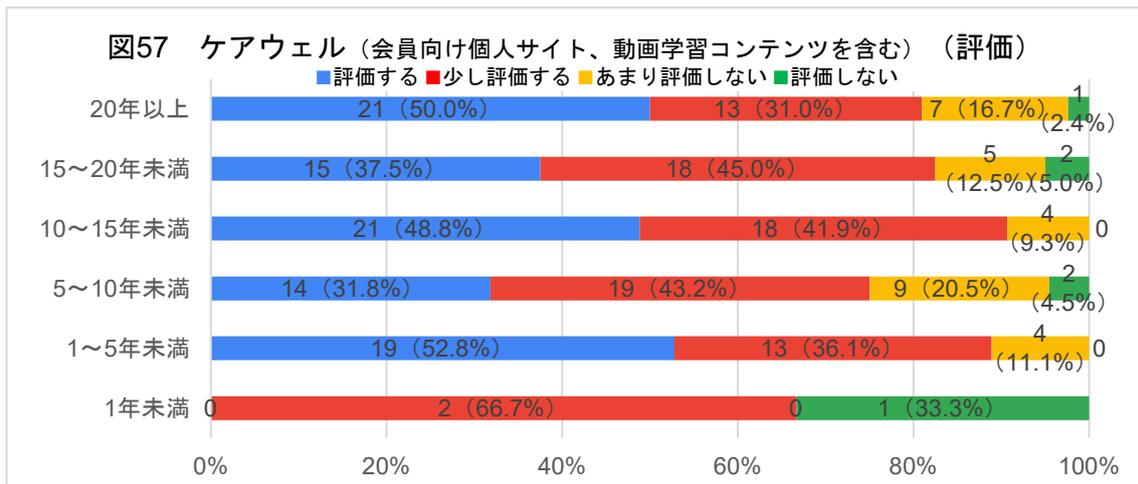


(6) (クロス集計)【その他】に対する認知度・評価

○ケアウェル（会員向け個人サイト、動画学習コンテンツを含む）

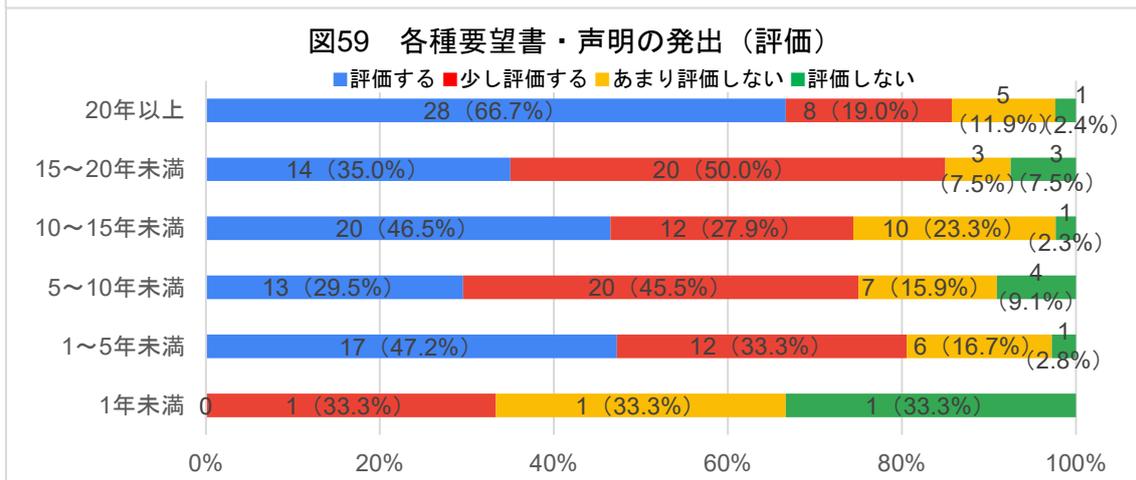
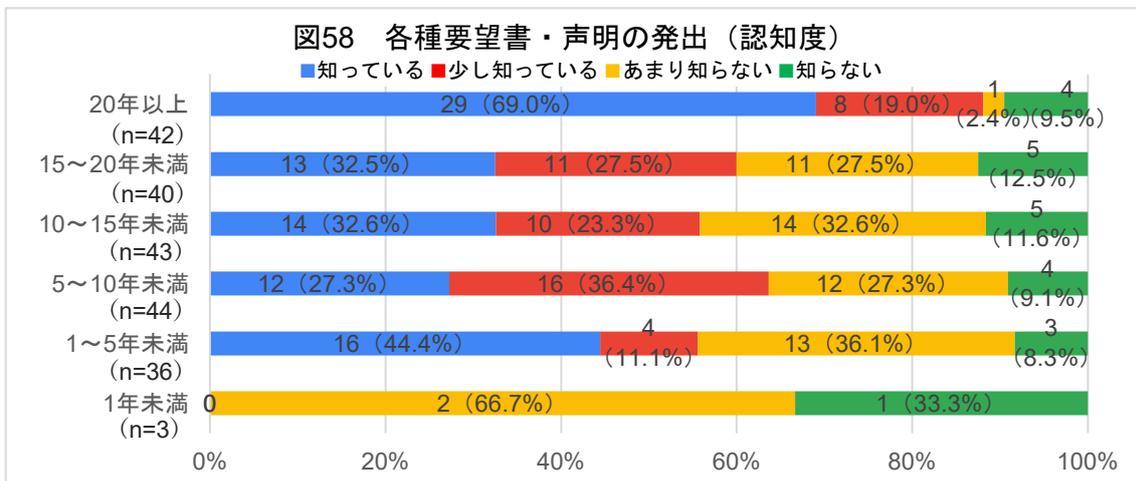
入会後の年数によって、「知っている」と「少し知っている」、「評価する」と「少し評価する」の割合に違いがみられる。





○各種要望書・声明の発出

入会後20年以上において、「知っている」、「評価する」の割合が全体や他の層に比べて大きくなっている。入会後の年数によって、「評価する」と「少し評価する」の割合に違いがみられる。



○ 発災時の災害救援事業

入会後20年以上において、「知っている」、「評価する」の割合が全体や他の層に比べて大きくなっている。入会後5～10年未満においては、「評価する」と「少し評価する」の割合が全体や他の層と異なっている。

